

BOSS TONE STUDIO for GT-1000 の使いかた

はじめに

BOSS TONE STUDIO for GT-1000（以下、TONE STUDIO）は、GT-1000 と GT-1000CORE の両機種でお使いいただけます。

- 本取扱説明書では、GT-1000T と GT-1000CORE をまとめて「GT-1000」として説明します。
- TONE STUDIO の画面は、GT-1000 を接続したときのものを使用しています。
- パッチ・ナンバーは GT-1000 では「U01-1、U01-2…」、GT-1000CORE では「U001、U002…」と表示されます。

TONE STUDIO を使う準備

USB ドライバーをインストールする

TONE STUDIO を使う前に、お使いの製品に応じた USB ドライバーをパソコンにインストールします。

1. 製品サポート・ページから GT-1000 Driver をダウンロードします。

最新の USB ドライバーは、以下の URL にアクセスし、お使いの機種にあったドライバーをダウンロードします。

<https://www.boss.info/jp/support/>

2. ダウンロードした GT-1000 Driver をダブルクリックします。

インストールが始まります。

インストール画面の指示に従って、インストールを進めます。

「インストールが完了しました。」と表示されたら、[完了] ボタンをクリックします。

お使いのパソコンに GT-1000 Driver がインストールされます。

※ GT-1000 と、GT-1000CORE の USB ドライバーは共通です。

TONE STUDIO をインストールする

メモ

TONE STUDIO をインストールする前に、「USB ドライバーをインストールする」(P.1) に従って、お使いのパソコンに USB ドライバーがインストールされている必要があります。

Windows をお使いの場合

1. ZIP ファイルを展開します。

2. 「BOSS TONE STUDIO for GT-1000 Installer.exe」をダブルクリックします。

インストールが始まります。

3. インストール画面の指示に従って、インストールを進めます。

4. 「BOSS TONE STUDIO for GT-1000 セットアップウィザードの完了」と表示されたら、[完了] ボタンをクリックします。

Mac をお使いの場合

1. ZIP ファイルを展開します。

2. 「BOSS TONE STUDIO for GT-1000 Installer.pkg」をダブルクリックします。

インストールが始まります。

3. インストール画面の指示に従って、インストールを進めます。

4. 「インストールが完了しました。ソフトウェアがインストールされました。」と表示されたら、[閉じる] ボタンをクリックします。

TONE STUDIO を起動する

1. GT-1000 をパソコンと USB ケーブルで接続し、GT-1000 の電源を入れます。

メモ

GT-1000 とパソコンを USB ケーブルで接続しなくても、ライブセットの編集と、BOSS TONE CENTRAL からのライブセットのダウンロードはできます。

ただし、パッチをエディットした結果を保存することはできません。保存にはパソコンとの接続が必要です。

2. [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] ⇒ [BOSS TONE STUDIO for GT-1000] ⇒ [BOSS TONE STUDIO for GT-1000] を選びます。

初めての起動時には、「Choose a device to connect with.」ダイアログが表示されます。

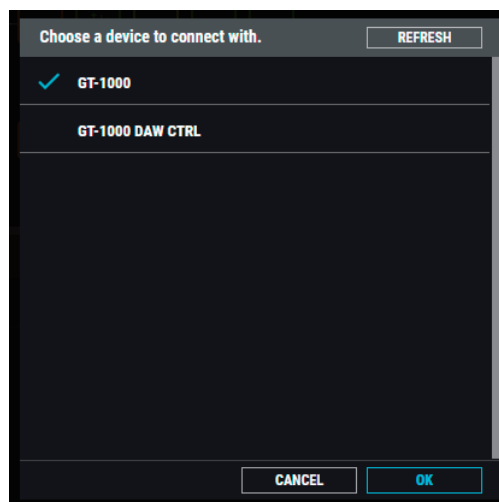
メモ

2 回目以降の起動時は、デバイスが自動で選ばれます。

Mac OS をお使いの場合

Finder から、アプリケーション / BOSS / GT-1000 フォルダ内の [BOSS TONE STUDIO for GT-1000 (.app)] をダブルクリックします。

3. 「GT-1000」を選び、[OK] ボタンをクリックします。



TONE STUDIO が起動します。

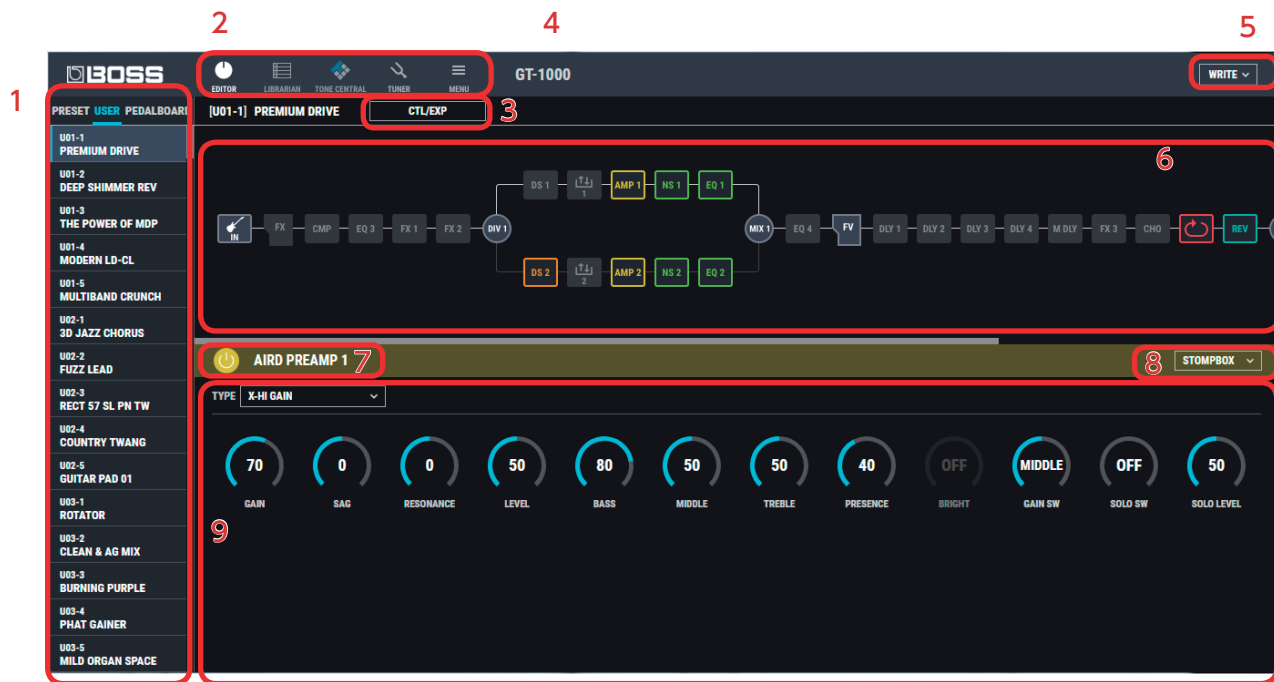
メモ

GT-1000 からデータを読み込むため、TONE STUDIO が使えるようになるまで時間がかかることがあります。

ご注意!

TONE STUDIO は、GT-1000 AIRD Output Select Library ソフトウェア、GT-1000 IR Loader ソフトウェアと同時に使用することができません。TONE STUDIO を起動するときは、それらのソフトウェアを終了してから起動してください。

EDITOR 基本画面



1. パッチ選択エリア

EDIT 表示中に PATCH LIST の「PEDALBOARD」をクリックすると、CONTROL MODE が「PEDALBOARD」に変わります。(*1)

2. 機能選択エリア

3. [CTL/EXP] ボタン

クリックすると、CONTROL FUNCTION、ASSIGN、PATCH MIDI、CONTROL LED COLOR ポップアップが表示されます。

4. 機種名

接続されている機種名が表示されます。

5. [WRITE] ボタン

クリックすると、WRITE、CLEAR のリストが表示されます。

6. エフェクト選択エリア

ブロックを一度クリックしてエフェクトを選びます。画面下部に選んだエフェクトのパラメーターが表示されます。クリック 2 回目以降は、クリックするたびにオン／オフが切り替わります。

選んだブロックには、が表示され、つかんでドラッグ & ドロップするとエフェクトを移動することができます。

ルーパーのアイコン () をクリックすると、ルーパーの再生／停止をコントロールすることができます。

7. エフェクト・オン／オフ・ボタン

8. [STOMPBOX] ボタン

クリックすると、STOMPBOX のメニューが表示されます。

9. パラメーター編集エリア

各パラメーターのダイヤルを上下にドラッグして、値を設定します（マウスホイールでも設定できます）。

また、ダブルクリックすると、パソコンのキーボードで数値入力したり、リストから値を直接選んで設定したりすることができます。

[TYPE] ボックスをクリックするとリストが表示され、TYPE を選ぶことができます。

(*1) PEDALBOARD のときに [LIBRARIAN] ボタンまたは [TONE CENTRAL] ボタンをクリックすると「MEMORY」に自動的に変わり、PRESET または USER が表示されます。

BTS 接続中は、本体の CONTROL MODE メニューは無効になります。

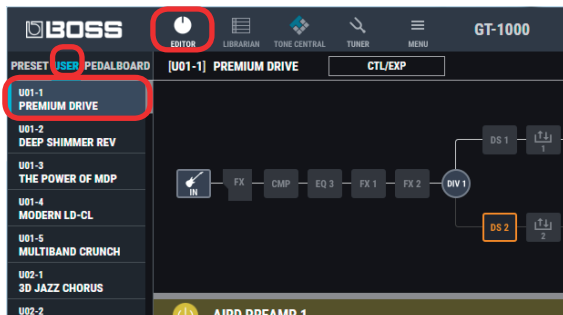
また、PEDALBOARD の内容は、他のパッチと同様に LIBRARIAN にバックアップすることができます。

GT-1000CORE には PEDALBOARD 機能はありません。

パッチをエディットする

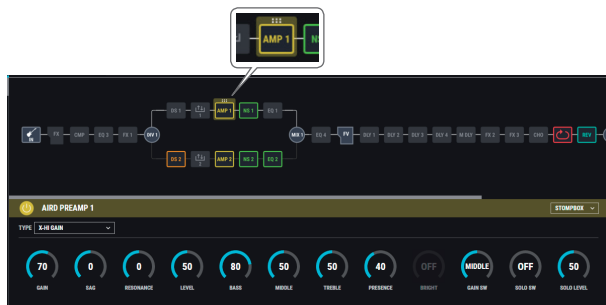
ユーザー・パッチ「U01-1 PREMIUM DRIVE」をエディットする例を説明します。

1. TONE STUDIO 画面の上部にある [EDITOR] ボタンをクリックします。
2. 「USER」をクリックします。
3. エディットするパッチをクリックします。ここでは「U01-1 PREMIUM DRIVE」をクリックします。



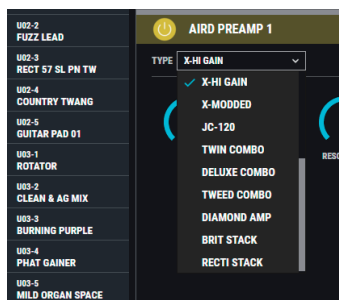
4. エフェクト・チェーン画面（画面上部）のエフェクト・ブロックの中から、エディットしたいエフェクト・ブロックをクリックします。

ここでは、[AMP1] (AIRD PREAMP 1) ブロックをクリックします。クリックしたエフェクト・ブロックに枠が表示され、画面下部にエフェクトの設定が表示されます。



5. エフェクトをエディットします。

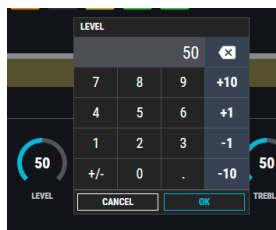
- プリアンプの種類を変更したいときは、[TYPE] ボックスをクリックして、リストから選びます。



- エフェクト・チェーン画面の各種エフェクトは、配置を変更することもできます。移動したいエフェクトをドラッグ & ドロップします（赤で表示された場所に移動することができます）。



- パラメーターのダイヤルを上下にドラッグすると、数値が変更できます（マウスホイールでも設定できます）。ダブルクリックすると、パソコンのキーボードで数値入力したり、リストから値を直接選んで値を設定したりすることができます。



6. 他のエフェクトもエディットするときは、手順 4～5 を繰り返します。

エディットしたエフェクトを GT-1000 に保存する (WRITE)

エディットしたエフェクトを GT-1000 に保存します。

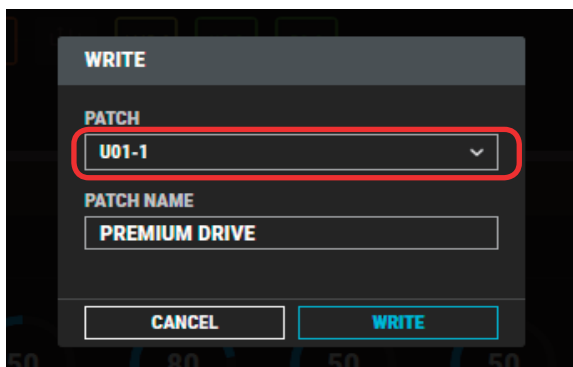
※ CONTROL MODE が「PEDALBOARD」のときは、CLEAR のみ可能です。

1. TONE STUDIO 画面の右上にある [WRITE] ボタンをクリックします。



2. 「WRITE」をクリックします。
「WRITE」ダイアログが表示されます。

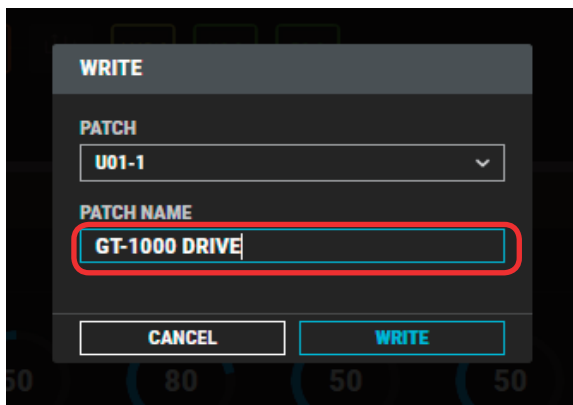
3. 保存先のユーザー・パッチの番号を選びます。
ここでは、「U01-1」を選びます。



ご注意！

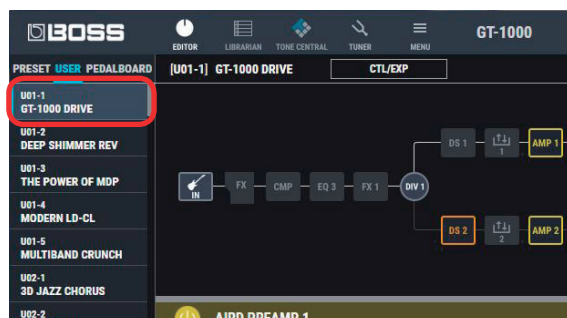
保存すると、選んだ番号のユーザー・パッチは上書きされ、元の設定に戻すことはできません。上書きしてもよいユーザー・パッチを選んでください。

4. ユーザー・パッチ名を変更するときは、ユーザー・パッチ名の欄をクリックし、パソコンのキーボードでユーザー・パッチ名を入力します。



5. [WRITE] ボタンをクリックします。

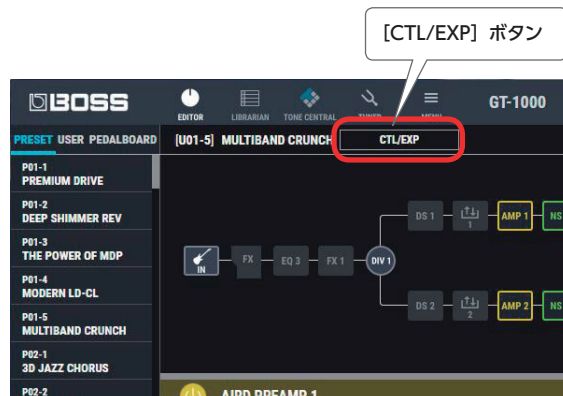
指定したユーザー・パッチにエディットしたエフェクトが保存されます。



コントローラーの設定をする

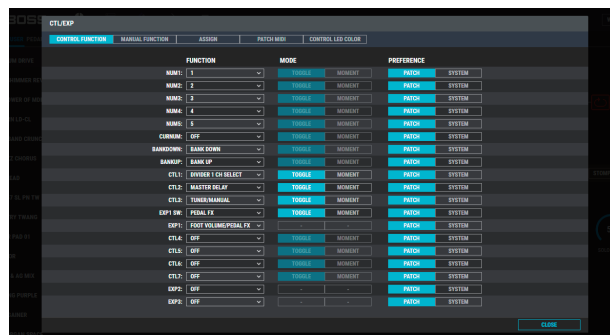
CONTROL FUNCTION、ASSIGN、PATCH MIDI、CONTROL LED COLOR の設定ができます。

1. TONE STUDIO 画面の [CTL/EXP] ボタンをクリックします。



各コントローラーの設定画面が表示されます。

2. 機能を割り当てます。



※ CONTROL MODE が「PEDALBOARD」のときは、MANUAL FUNCTIONと PATCH MIDI は表示されません。

※ GT-1000CORE には PEDALBOARD 機能はありません。

※ GT-1000 と GT-1000CORE では、表示される項目が異なります。

LIBRARIAN 基本画面

**1. [CREATE LIVESET] ボタン**

ボタンを押すと新しい空のライブセットが作成されます。

2. ライブセット名

ライブセットの名前とパッチの数が表示されます。

3. ライブセット名エディット・ボタン

クリックすると、ライブセット名を編集することができます。また、ごみ箱マークをクリックするとライブセットを消去することができます。

4. パッチ名エディット・ボタン

クリックすると、パッチ名を編集することができます。また、ごみ箱マークをクリックするとパッチを消去することができます。

5. [Import] ボタン

GT-1000 本体の全パッチを LIBRARIAN にインポートしたり、パソコンに保存されている LIBRARIAN ファイルを LIBRARIAN にインポートしたりすることができます。

6. [Export] ボタン

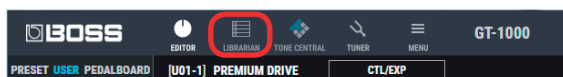
ライブセットを GT-1000 本体にエクスポートしたり、ライブセットをエクスポートして、パソコンに保存したりすることができます。

GT-1000 の全ユーザー・パッチを LIBRARIAN に取り込む (IMPORT FROM GT-1000)

GT-1000 の全ユーザー・パッチと PEDALBOARD の内容を、LIBRARIAN に取り込みます。

全ユーザー・パッチは、ライブセットとして保存されます。

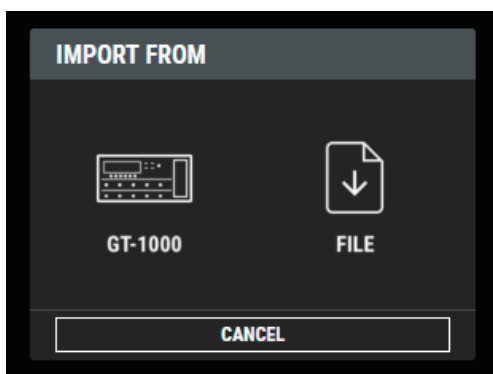
1. TONE STUDIO 画面の [LIBRARIAN] ボタンをクリックします。



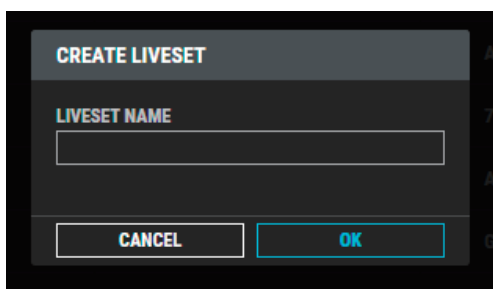
2. TONE STUDIO 画面の上部にある [Import] ボタンをクリックします。



3. [GT-1000] ボタンをクリックします。



CREATE LIVESET 画面が表示されます。



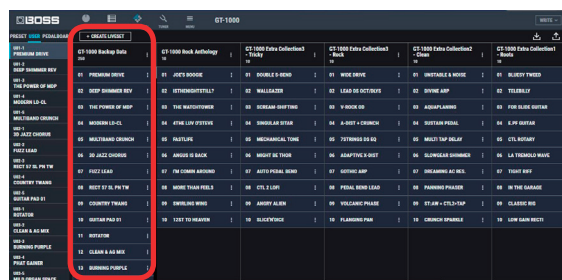
4. ライブセット名を入力して、[OK] ボタンをクリックします。

インポートが開始されます。途中で中止する場合は、[CANCEL] ボタンをクリックします。

GT-1000 の全ユーザー・パッチをインポートするため、しばらく時間がかかります。インポートが完了すると、「Completed!!」と表示されます。

5. [OK] ボタンをクリックします。

LIBRARIAN にユーザー・パッチがライブセット形式で保存されます。



LIBRARIAN のライブセットを GT-1000 に書き戻す (EXPORT TO GT-1000)

保存されているライブセットを GT-1000 に書き戻します。

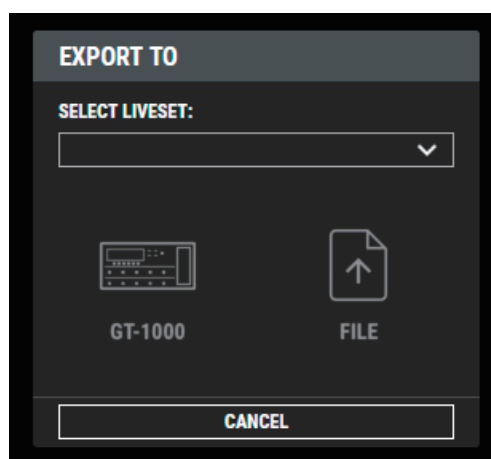
ご注意!

251 を超えるパッチは、書き戻しされません。

1. TONE STUDIO 画面の上部にある [Export] ボタンをクリックします。



2. SELECT LIVESET からエクスポートするライブセットを選びます。



3. [GT-1000] ボタンをクリックします。

エクスポートが開始されます。途中で中止する場合は、[CANCEL] ボタンをクリックします。

エクスポートが完了すると、「Completed!!」と表示されます。

4. [OK] ボタンをクリックします。

選んだライブセットが GT-1000 に書き戻されます。

パッチを GT-1000 に書き戻す

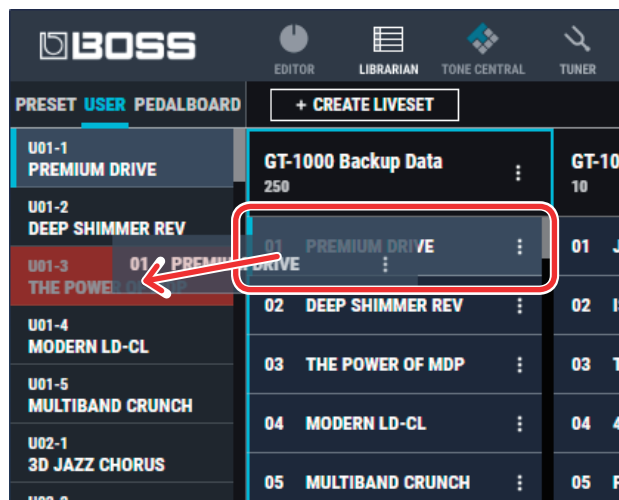
保存されているライブセットの中から、パッチを選んで GT-1000 に書き戻します。

1. 書き出したいパッチを、希望する GT-1000 のユーザー・パッチ番号にドラッグ&ドロップします。

ご注意！

パッチをドロップすると、選んだ番号のユーザー・パッチは上書きされ、元の設定に戻すことはできません。上書きしてもよいユーザー・パッチを選んでください。

ここでは「U01-1 PREMIUM DRIVE」というパッチを「U01-3 THE POWER OF MDP」にドラッグ&ドロップしています。



GT-1000 でユーザー・パッチ「U01-3」を選ぶと、書き戻したパッチが使えます。

メモ

「複数のパッチを選ぶ」(P.9) に従って、複数のパッチを選ぶこともできます。

ライブセットをパソコンに保存する (EXPORT TO FILE)

バックアップしたライブセットをパソコンに書き出すことができます。

1. TONE STUDIO 画面の上部にある [Export] ボタンをクリックします。
2. SELECT LIVESET からエクスポートするライブセットを選びます。
3. [FILE] ボタンをクリックします。
「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。
4. 名前と保存先を入力して、[保存] ボタンをクリックします。
保存先にライブセット・ファイル (.tsl ファイル) が作成されます。

エクスポートしたライブセットの使用例

- USB メモリーなどを使って、別のパソコンにライブセットをコピーする
- メールなどを使って、他の GT-1000 ユーザーにライブセットを送る

パソコンに保存したライブセットを LIBRARIAN に取り込む (IMPORT FROM FILE)

パソコンに書き出したライブセットを TONE STUDIO のライブラリーに取り込むことができます。

1. TONE STUDIO 画面の上部にある [Import] ボタンをクリックします。

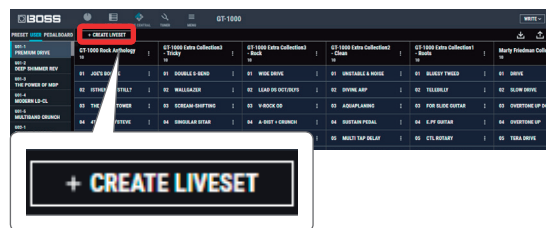


2. [FILE] ボタンをクリックします。
「開く」ダイアログが表示されます。
3. ライブラリーに取り込みたいライブセット・ファイル
(拡張子: .tsl) を選び、[開く] ボタンをクリックします。
LIBRARIAN に、ライブセットが取り込まれます。

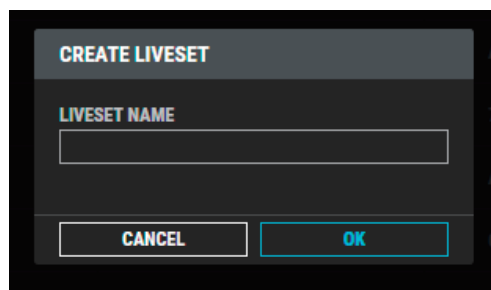
オリジナルのライブセットを作る

好みのパッチだけを集めた、オリジナル・ライブセットを作ることができます。

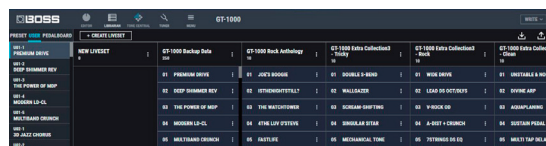
1. TONE STUDIO 画面の上部にある [CREATE LIVESET] ボタンをクリックします。



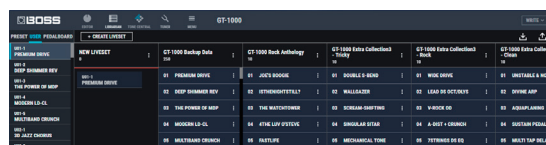
2. ライブセット名を入力します。



3. [OK] ボタンをクリックします。
パッチが登録されていない空のライブセットが作られます。



4. TONE STUDIO 画面の左のパッチ・リストの中から、好みのパッチを新しいライブセットにドラッグ&ドロップします。



選んだパッチが、新しいライブセットに登録されます。

メモ

- ひとつのライブセットに登録できるパッチ数の上限は 300 です。
パッチを挿入することで 300 パッチを超えた場合、300 を超えた分のパッチは挿入されません (メッセージが表示されます)。
- 別のライブセット内に登録されているパッチを、新しいライブセットへドラッグ&ドロップすることもできます。
- ライブセット内のパッチは、ドラッグ&ドロップで並び替えをすることができます。
- TONE STUDIO では、最大 30 のライブセットを作成することができます。30 を越えて新たにライブセットを作成、保存する場合は、EXPORT TO FILE 機能を使って、既存のライブセットをパソコンに保存してください。

パッチをコピーする

パッチを別のライブセットや GT-1000 のパッチにコピーすることができます。

1. コピーしたいパッチを選びます。

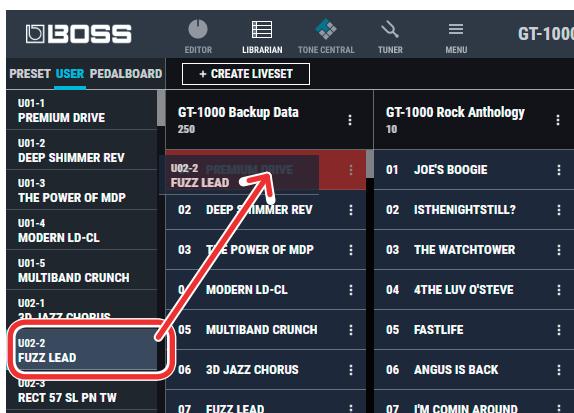
メモ

「複数のパッチを選ぶ」(P.9)に従って、複数のパッチを選んでコピーすることもできます。

2. 選んだパッチを、希望するコピー先にドラッグ & ドロップします。

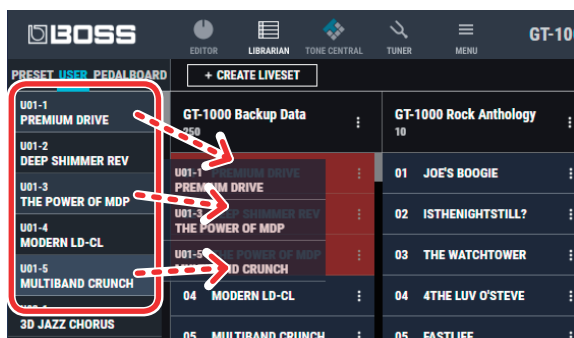
ご注意!

パッチをドロップすると、赤色で選んだエリアのパッチは上書きされ、元の設定に戻すことはできません。上書きしてもよいパッチを選んでください。



メモ

- 連続していないパッチを選んでコピーした場合は、連続したパッチとしてコピーされます。



- ひとつのライブセットに登録できるパッチの数の上限は 300 です。パッチを挿入することで 300 パッチを超えた場合、300 を超えた分のパッチは挿入されません (メッセージが表示されます)。
- ライブセット内に登録されているパッチを、自身のライブセットや新しいライブセットへコピーすることもできます。

複数のパッチを選ぶ

パソコンのマウスとキーボードを組み合わせると、パッチをまとめて選ぶことができます。

パッチを範囲で選ぶ

連続した範囲でパッチを選ぶことができます。

1. 選びたいパッチの先頭をクリックします。
2. パソコンのキーボードの [Shift] キーを押しながら、選びたいパッチの末端をクリックします。
クリックしたパッチの先頭から末端までが選ばれます。

パッチを個別に選ぶ

クリックしたパッチだけを個別に選ぶことができます。

1. パソコンのキーボードの [Ctrl] キーを押しながら、選びたいパッチをクリックします。
クリックしたパッチが選ばれます。選ばれたパッチは、ハイライトで表示されます。

Mac OS をお使いの場合

パソコンのキーボードの [command] キーを押しながら、選びたいパッチをクリックします。

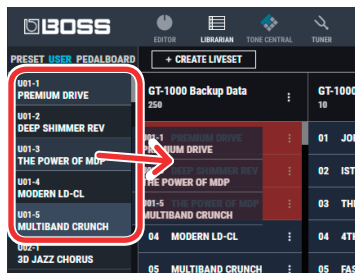
2. さらに選びたいパッチがある場合は、手順 1 を繰り返します。

[Ctrl] キーを押しながら、選ばれたパッチ (ハイライト表示) を再度クリックすると、解除されます (ハイライトが消えます)。

複数のパッチを選んでコピーするときの操作の違いについて

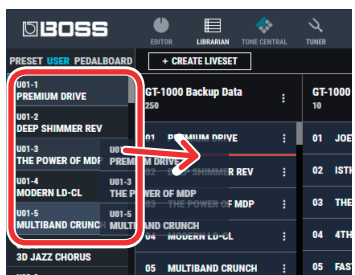
選んだパッチをドラッグ & ドロップするとき、マウスの操作によってコピーの結果に違いがあります。

コピー先に赤色のエリアを表示させてドラッグ & ドロップする（上書きコピー）



赤色で表示されたエリアにパッチがコピーされます。

コピー先のパッチとパッチの間にドラッグ & ドロップする（挿入）



赤線の位置にパッチが挿入されます。以降のパッチは後ろにずれます。

パッチを移動する

パッチを別のライブセットや GT-1000 のパッチに移動することができます。パッチを移動すると元の場所からはなくなります。

1. 移動したいパッチを選びます。

メモ

「複数のパッチを選ぶ」(P.9) に従って、複数のパッチを選んで移動することもできます。

2. パソコンのキーボードの [Alt] キーを押しながら、選んだパッチを希望するコピー先にドラッグ & ドロップします。

Mac OS をお使いの場合

パソコンのキーボードの [option] キーを押しながら、ドラッグ & ドロップします。

パッチを削除する

不要なパッチを削除します。

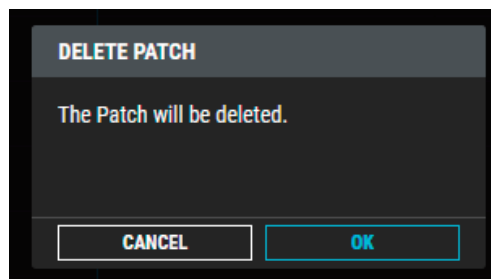
1. 削除したいパッチを選びます。

メモ

「複数のパッチを選ぶ」(P.9) に従って、複数のパッチを選んで削除することもできます。

2. パソコンのキーボードの [Delete] キーを押します。

「DELETE PATCH」メッセージが表示されます。



ご注意！

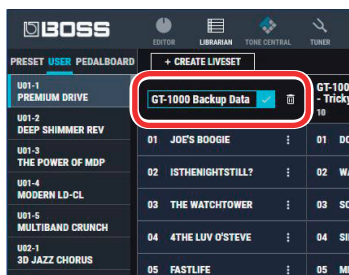
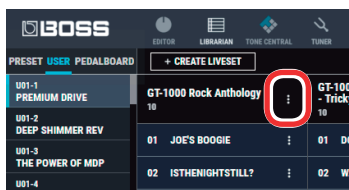
削除したパッチは、元に戻すことはできません。削除を中止するには [CANCEL] ボタンをクリックします。

3. [OK] ボタンをクリックします。

選んだパッチが削除されます。

ライブセットの名前を変更する

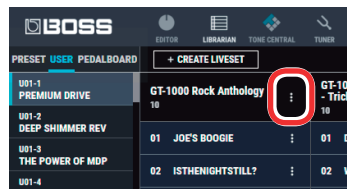
1. エディットしたいライブセット名の右の ボタンをクリックします。



ライブセットを削除する

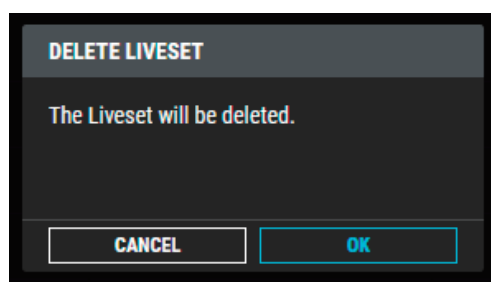
不要になったライブセットを削除することができます。

1. 削除したいライブセット名の右の ボタンをクリックします。



2. ボタンをクリックします。

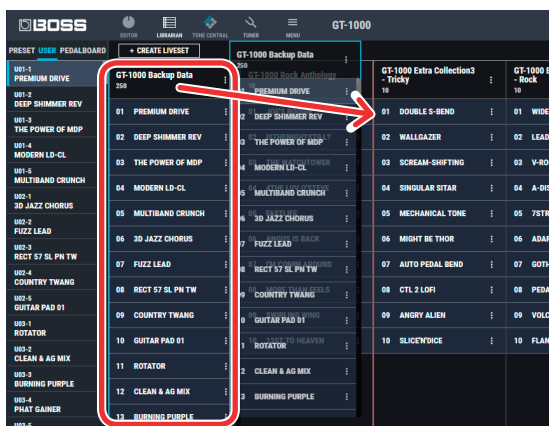
「ライブセットの削除」ダイアログが表示されます。



ライブセットを並び替える

表示するライブセットを並び替えることができます。

1. 並び替えたいライブセットをクリックします。
2. ライブセット名をドラッグ & ドロップします。
赤線の位置にライブセットが移動します。



ご注意！

削除したライブセットは、元に戻すことはできません。削除を中止するには [CANCEL] ボタンをクリックします。

3. [OK] ボタンをクリックします。
選んだライブセットが、削除されます。

BOSS TONE CENTRAL のライブラリーを使う

BOSS TONE CENTRAL からライブセットをダウンロードする

BOSS TONE CENTRAL で公開されているライブセットをダウンロードして、GT-1000 で使うことができます。

1. TONE STUDIO 画面上部にある【TONE CENTRAL】ボタンをクリックします。



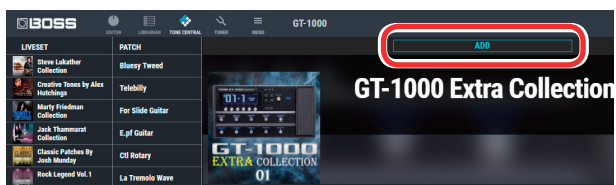
BOSS TONE CENTRAL で公開されているパッチの一覧、パッチの解説が表示されます。

2. LIVESET (ライブセット) の中からダウンロードしたいライブセットを選びます。

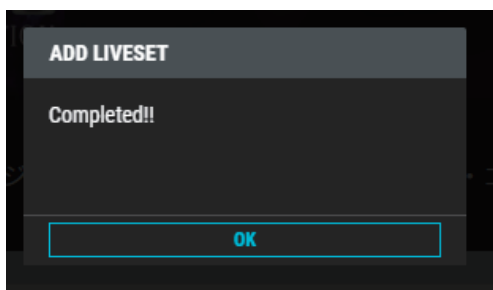
ここでは、「GT-1000 Extra Collection 1」を選びます。



3. 画面上部の【ADD】ボタンをクリックします。



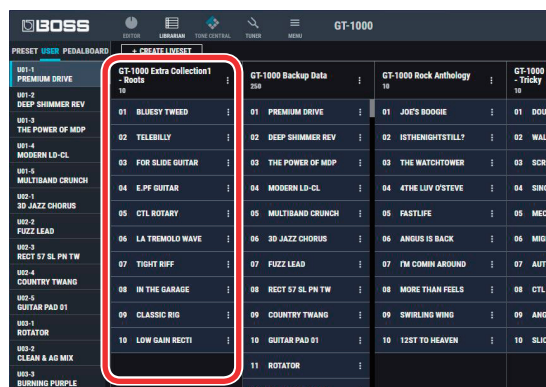
ライブセットがダウンロードされ、「Completed!!!」と表示されます。



メモ

BOSS TONE STUDIO からのダウンロードは、ライブセット単位です。パッチ単位でのダウンロードや、ライブラリーへの追加はできません。

4. 【OK】ボタンをクリックして、再度【LIBRARIAN】ボタンをクリックします。



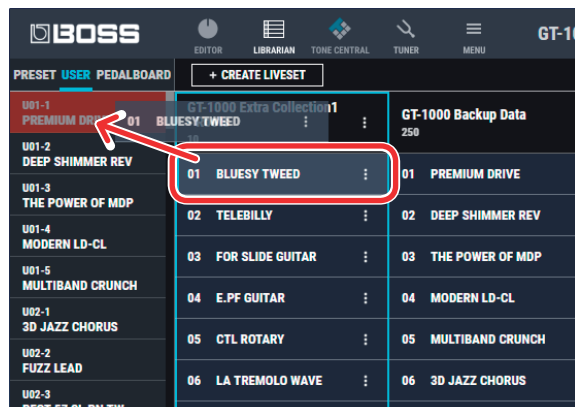
ダウンロードしたライブセットが表示されます。

5. ダウンロードしたライブセットの中のパッチを、希望するGT-1000 のユーザー・パッチ番号にドラッグ&ドロップします。

ご注意!

パッチをドロップすると、選んだ番号のユーザー・パッチは上書きされ、元の設定に戻すことはできません。上書きしてもよいユーザー・パッチを選んでください。

ここでは「1 BLUESY TWEED」というパッチを「U01-1 PREMIUM DRIVE」にドラッグ & ドロップしています。



GT-1000 でユーザー・パッチ「U01-1」を選ぶと、追加したパッチが使えます。

TONE STUDIO でコントロールするデバイスを選ぶ

TONE STUDIO でコントロールするデバイスを選びます。

1. TONE STUDIO 画面の上部にある [MENU] ボタンをクリックします。

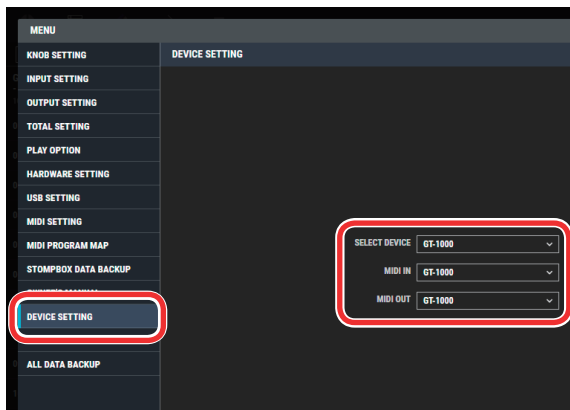
MENU 画面が表示されます。



2. [DEVICE SETTING] をクリックします。

デバイス設定画面が表示されます。

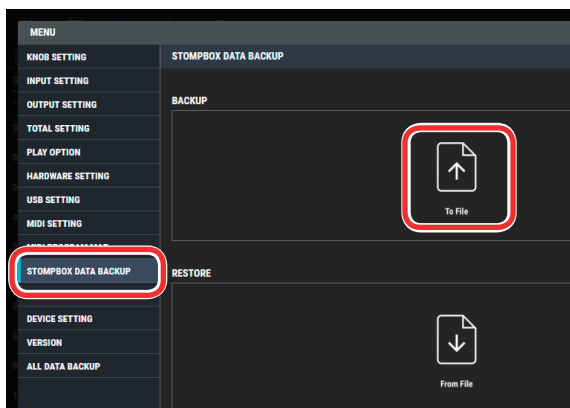
3. SELECT DEVICE をクリックし、リストの中から [GT-1000] を選びます。



STOMPBOX の設定をパソコンに保存する (STOMPBOX DATA BACKUP)

GT-1000 に保存されている STOMPBOX のデータをパソコンに書き出すことができます。

1. TONE STUDIO 画面上部にある [MENU] ボタンをクリックします。
2. [STOMPBOX DATA BACKUP] をクリックします。
STOMPBOX DATA BACKUP 画面が表示されます。
3. [TO FILE] ボタンをクリックします。



「名前を付けて保存」のダイアログが表示されます。

4. 名前と保存先を入力して、[保存] ボタンをクリックします。
エクスポートが開始されます。完了すると、「Completed!!」と表示されます。

5. [OK] ボタンをクリックします。

保存先に STOMPBOX ファイル (.stx ファイル) が作成されます。

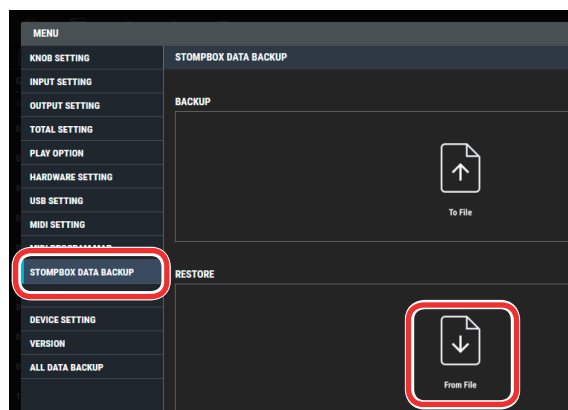
パソコンに保存した STOMPBOX ファイルを GT-1000 に書き戻す (STOMPBOX DATA RESTORE)

パソコンに書き出した STOMPBOX ファイルを GT-1000 に書き戻すことができます。

ご注意！

書き戻すと STOMPBOX のデータが上書きされ、元の設定に戻すことはできません。

1. TONE STUDIO 画面上部にある [MENU] ボタンをクリックします。
2. [STOMPBOX DATA BACKUP] をクリックします。
STOMPBOX DATA BACKUP 画面が表示されます。
3. [FROM FILE] ボタンをクリックします。



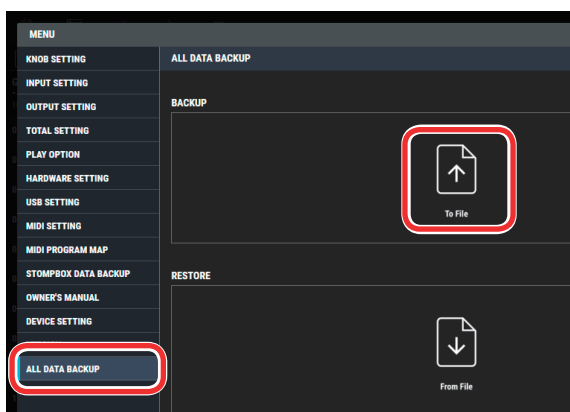
「開く」のダイアログが表示されます。

4. 書き戻したい STOMPBOX ファイル (拡張子:.stx) を選び、[開く] ボタンをクリックします。
インポートが開始されます。完了すると、「Completed!!」と表示されます。
5. [OK] ボタンをクリックします。
GT-1000 に STOMPBOX のデータが書き戻されています。

GT-1000 すべての設定をパソコンに保存する (ALL DATA BACKUP)

GT-1000 に保存されているすべてのデータをパソコンに書き出すことができます。

1. TONE STUDIO 画面上部にある「MENU」ボタンをクリックします。
2. [ALL DATA BACKUP] をクリックします。
ALL DATA BACKUP 画面が表示されます。
3. [TO FILE] ボタンをクリックします。



「名前を付けて保存」のダイアログが表示されます。

4. 名前と保存先を入力して、[保存] ボタンをクリックします。
エクスポートが開始されます。
すべてのデータをエクスポートするため、しばらく時間がかかります。
完了すると、「Completed!!!」と表示されます。
5. [OK] ボタンをクリックします。
保存先にオールデータ・ファイル (.alb ファイル) が作成されます。

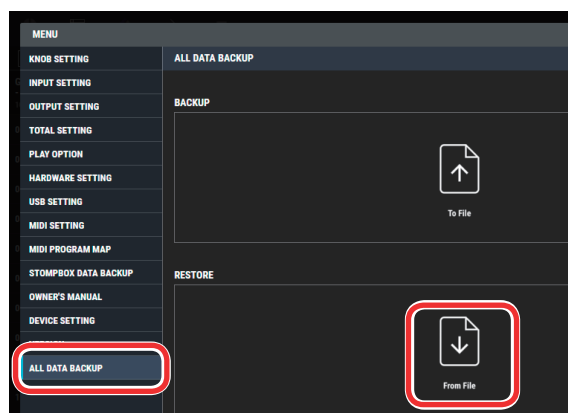
パソコンに保存したオールデータ・ファイルを GT-1000 に書き戻す (ALL DATA RESTORE)

パソコンに書き出したオールデータ・ファイルを GT-1000 に書き戻すことができます。

ご注意！

書き戻しすると、すべてのデータが上書きされ、元の設定に戻すことはできません。

1. TONE STUDIO 画面上部にある「MENU」ボタンをクリックします。
2. [ALL DATA BACKUP] をクリックします。
ALL DATA BACKUP 画面が表示されます。
3. [FROM FILE] ボタンをクリックします。



「開く」のダイアログが表示されます。

4. 書き戻したいオールデータ・ファイル (拡張子:.alb) を選び、[開く] ボタンをクリックします。
インポートが開始されます。
すべてのデータをエクスポートするため、しばらく時間がかかります。
完了すると、「Completed!!!」と表示されます。
5. [OK] ボタンをクリックします。
GT-1000 にすべてのデータが書き戻されています。